Monthly
JVEC NEWS
vol.40
ジャパンベジタブルコミュニティ …マンスリーニュース… 2019年 9月号

トピック

屋上菜園はどんな場所？

毎月発行し、会員の皆さんにお送りしているマンスリーニュースが９月で40号となりました。マンスリーニュースもJVECの歩みと共に少しずつですが、内容が充実してきました。今後さらに50号、100号と発行できるように頑張りたいと思います。

ところで皆さんは「屋上菜園ってどんなところ？」と聞かれたらどのように答えられるでしょうか。いろいろな答えがあると思いますが、今私が答えるとしたら「野菜栽培をしながら、自然に笑顔や楽しい会話が生まれてくるところ」ということになるでしょうか。現在、作業・指導をしている４つの屋上菜園で多くの笑顔に接するので、そのように思うのかもしれません。それにしてもなぜ笑顔になるのでしょうか。野菜栽培と笑顔…その関係性を考え続けている今日この頃です。

ゴルフの渋野選手がプレー中の笑顔で観客の心をつかみました。笑顔は言葉を超えて万国共通ですね。

代表理事　阿部　義通

JVEC プロジェクトの動き

1. JVEC 年間事業計画案

９月からJVECは第５期に入ります。そのための事業計画案を現在、理事会で作成・検討中です。理事会として案がまとまりましたら会員の皆さんにお送りします。９月の第１週を予定しています。第５期はＪＶＥＣにとっては階段を１、２段必ず上がる年になると予感しています。会員の皆さんからのご意見、ご提案を歓迎します。事業計画を会員全員で共有して、１つ１つ実現していきましょう。JVECが願うこと、それは屋上菜園の活動を通じて人々がつながり、多くの笑顔が生まれることです。　（阿部）

2.「神田の森」プロジェクト　神田のビル・屋上の畑と果樹園

ハゴロモビルの屋上にレモンの木が植えられています。土の深さは30cmですが、しっかりと立っていて、屋上の強い風にも耐えています。背丈は１mほど、小さいながら、今年も春に花を咲かせました。

どこからでしょうか？アゲハ蝶も飛んできて卵を産んでいきます。

（伊藤）

レモンの木

3. えごま日記

今夏は島根も酷暑で最高温度37℃を記録しましたが、ようやく涼しくなりました。お盆を過ぎた頃から雨も多く降り始め、停滞気味のエゴマがここ数日でグンと伸びました。あとは、さらなる成長促進と台風で倒れないように、２回・３回目の土寄せおよび味乗せのためミネラル・カルシウムの有機質肥料の散布をする予定です。　（柴原）

グンと伸びたエゴマ

4.「第二の故郷づくり」プロジェクトスタート

まだ外部の方ですが、第二の故郷づくりプロジェクトに関心を寄せて下さるＨさんと打ち合わせを始めています。会社では地域創生の仕事をされています。これからの日本にとって地域の復活は重要です。ヨーロッパ諸国では産業と農業、都市と農村のバランスが重視されていますが、日本では必ずしもそうではありません。問題は都市と農村の交流推進チームをどのようにつくるかです。JVEC はこれからも価値観・目的を共有できる個人や企業と積極的にコラボレーションを進めていきます。　（阿部）

9月 Schedule

□三井住友海上火災　栽培指導24区画対象　毎週土曜日
7日・14日・21日・28日指導　阿部・庭野
場所／三井住友海上火災ビル屋上（千代田区神田駿河台 3-9）

□北千住ルミネ屋上菜園作業（13 区画）毎週水曜日
4日・11日・18日・25日作業　午前9時～11時
阿部・阿部（延）・丹羽・庭野・藤掛・丸原・森川
場所／北千住ルミネ（足立区千住旭町）

□台東区老人ホーム 栽培管理作業（2区画）および講習/ワークショップ
12日(木)・26日(木) 午後2時～4時　隔週木曜日
阿部・庭野・丸原　場所／フレスコ浅草（台東区浅草）

□墨田区老人ホーム　栽培管理作業（6 区画）および懇談会
11日・25日　午前9時30分～11時30分　隔週水曜日
阿部・丹羽・庭野・古庄　場所／こまち墨田館（墨田区押上）

□JVEC栽培総合マニュアル編集委員会・第12回会議（最終）　※進行状況の関係で先月の会議が延期となりました。
9月6日（金）午後3時～5時　阿部・阿部（延）・庭野・丸原　場所／神田ハゴロモビル 2F（千代田区内神田 1-10-8）

一般社団法人ジャパンベジタブルコミュニティ　〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-10-8　TEL.080-5473-9028/FAX.03-6672-5654

8月の活動報告

◇三井住友海上火災(株)駿河台菜園部会◇
笑顔あふれる菜園

夏野菜の栽培を終えてこれから秋冬野菜の栽培に移行します。そのために８月19日は、菜園区画の土を平して堆肥と元肥を必要量蒔き、小型耕耘機で耕しました。９月２日にもう一度小型耕耘機を入れます。これで秋冬野菜の種まき、苗の植付けができます。作業は、秋葉さん（三井の担当者）・阿部・庭野さん・森川さんの４人で行いました。

各区画から秋冬野菜の栽培計画が出てきています。駿河台菜園では利用者の皆さんが楽しく野菜栽培をしています。秋には利用者の皆さんの野菜栽培経験交流会が予定されています。（阿部・庭野）

サトイモなどを残して施肥と耕耘

◇墨田区老人ホーム部会　こまち墨田館◇
みんなでトマトを撤去して、施肥・耕耘

28日は屋上菜園のトマトを、職員の方や入居者の皆さんと私たち合わせて10名で一緒に撤去しました。撤去して土の中の根を取り除いた後に五穀堆肥、元肥の甘糖くんを土に混ぜました。入居者の方の中には少し足の不自由な方もいらっしゃいましたが同じように作業することができました。２週間後、種まきと苗の定植をします。

現在、菜園で残っているのはサトイモ（大きな葉を何枚も広げています）、そして花とハーブです。花は切り花にして集会室に飾るとのことです。

（庭野、阿部）

こちらのトマト苗はまだ収穫可能

◇北千住ルミネ屋上菜園部会◇
夏野菜終了　秋冬野菜の準備完了

８月は台風や暑さと付き合いながらの野菜栽培となりました。台風のせいで急遽作業が中止になることもあれば、晴れれば今度は熱中症予防のため小まめに休憩を挟む必要があり、人間もまた自然の一部なのだと改めて気づかされます。８月は収穫と、収穫後の処理を中心に作業をしました。スイカは無事に収穫となり、立派な夏の風物詩を味わうことができました。トマトも先月から引き続いて収穫を行い、今シーズンの栽培を終えました。収穫後はそれぞれの区画で組んだ支柱を解体し、野菜自体も撤去していきます。マルチングのシートも剥がし、生えていた雑草も抜き取って収穫後の処理は完了です。

イチゴはランナーから苗を確保しました。イチゴには根元からツルのようなランナー（匍匐枝）を伸ばして子株を付ける性質があるので、この性質を利用して子株を苗として確保していきます。

秋冬野菜の準備のために施肥・耕耘をした屋上菜園の写真をご覧ください。（藤掛）

秋冬野菜に備えて施肥した畑

最後に収穫されたトマト

◇台東区老人ホーム部会　フレスコ浅草◇
11月、地元の方も参加する収穫祭を開催予定

トマトの収穫を終え整地・施肥をして、これから秋冬野菜の栽培が始まります。

表題の件で報道関係者の取材があるとのことで、鍋料理に使える秋冬野菜を７種類栽培することになりました。ダイコン、カブ、ハクサイ、ミズナ、ムラサキミズナ、サニーレタスです。

（阿部・庭野）

＼ JVECホームページは毎月更新されています。会員の皆様は是非ご覧ください。→https://www.jvec.jp/ ／